

令和 5 年 6 月 16 日現在

機関番号：37503

研究種目：国際共同研究加速基金（国際共同研究強化）

研究期間：2018～2022

課題番号：17KK0059

研究課題名（和文）東南アジアと東欧自動車産業の比較研究：産業政策・生産ネットワーク・地域発展

研究課題名（英文）Comparative Study on the Automotive Industry in Southeast Asia and Central and Eastern Europe: Industrial Policy, Production Networks and Regional Development

研究代表者

夏田 郁（Natsuda, Kaoru）

立命館アジア太平洋大学・アジア太平洋学部・教授

研究者番号：60454972

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 9,000,000円

渡航期間： 12ヶ月

研究成果の概要（和文）：本研究は、東南アジアと中東欧地域の自動車産業の発展プロセスを歴史、産業振興政策、サプライチェーン・ネットワークにおける地場産業の役割について比較研究した。東南アジア諸国は、垂直的産業政策を用い、地場産業を取り入れた自動車産業におけるサプライチェーンの振興を行ってきた。その結果、1次サプライヤーにおける地場企業比率は中東欧地域と比較すると高い。一方、中東欧諸国は、自由化政策を用い、外資系企業からのスピルオーバー効果を期待する発展戦略を採用した。その結果、1次サプライヤーは外資、2次・3次は地場資本企業という2重構造が形成されている。外資系企業から地場企業への技術移転は極めて限定的である。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の学術的意義は、第1に、東南アジアと中東欧地域を比較した世界最初の国際的な学術研究である。研究成果は、2022年に『Eurasian Geography and Economics』の63巻2号(SSCIのImpact Factor 3.778, 地域研究分野の世界ランキング1位)に出版した。第2に、ハンガリー自動車産業における日系自動車メーカーとドイツ系自動車メーカーのサプライチェーン・ネットワークの比較をした世界最初の学術研究である。これらの研究成果は、現地研究者を含む国際共同研究であり、この点において、日本の研究の国際化において社会的意義があると考えられる。

研究成果の概要（英文）：This research examines the comparative development of the automotive industry in Southeast Asia and Central and Eastern Europe (CEE) from the perspective of history, industrial policy, and the role of local capital suppliers in the supply chain networks. Southeast Asian countries have used vertical (sectoral) industrial policies to enhance local suppliers in the automotive supply chain networks. Consequently, the share of local capital firms in Tier-1 suppliers in Southeast Asia is higher than that of CEE. While CEE countries, where vertical industrial policies were banned by the European Union, used liberalization policies that enhanced foreign capital suppliers into the countries. Consequently, a dualism in the automotive supply chain networks consisting of Tier-1 foreign capital firms and Tier-2 and-3 local capital firms can be identified in CEE. Consequently, technological transfer and knowledge spillover to local capital suppliers are relatively limited in CEE.

研究分野：経済政策

キーワード：自動車産業 産業政策 経済発展 グローバル・バリューチェーン 自動車サプライ・チェーン・ネットワーク 中東欧諸国 東南アジア諸国

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

自動車産業は 2 万点の部品を要する組立産業であり、その裾野産業の広さより、これまで先進国及び新興国の工業化に重要な役割を果たしてきた。近年、自動車産業では急速なグローバル・シフトが展開している。2000 年には先進国主要 5 カ国 (米・日・独・仏・西) は世界全体の約 60% の自動車生産台数を占めていたが、2017 年にその割合は激減した。一方、新興工業国の自動車産業は急成長し、内需主導の成長を遂げる BRICs 諸国及び地域分業を核に発展する東南アジア・中東欧諸国は世界的な生産拠点として注目を集めている。とりわけ、後者は国境を越えた生産ネットワークを形成し、自動車産業は地域全体の工業化に重要な産業として位置づけられている。また自動車産業のグローバル化は、自動車メーカーのみならず、部品メーカーの海外進出にも及び、その結果、0.5 次下請けと呼ばれる多国籍部品メーカーが新興工業国に多く進出している。

2. 研究の目的

ハンガリーの現地調査を実施し、基課題で調査をおこなったチェコと自動車産業政策・サプライヤー・地域発展に関する横断的比較分析を行い、最終的に東南アジア諸国と自動車産業政策の比較研究を行う。東南アジア 5 カ国は政策の洗練度に違いのあるものの、全ての国に個別の自動車産業政策が存在する。とりわけ、内資主体国であるマレーシアには国産車 (Proton) を間接的に保護する強固な産業政策が存在する。一方、基課題の調査より、移行経済圏である中東欧地域は、共産主義体制から強制的な自由化政策の導入により産業政策は禁止され、「何も政策を用いないことが政策」である新自由主義政策を用い産業振興を行ってきた。この点において、内資主体国であるチェコは国産車 (Skoda) を保護する政策は用いていない。よって、政治経済的分析の視点から、東南アジア諸国は neo-developmental state、東欧諸国は embedded liberal state と分類して、比較研究を行うことが出来得ると考える。本基金の調査において、ハンガリーにおいては、他の中東欧諸国と異なり、日本のスズキ自動車が生産・販売台数の首位を占めている。よって、同国のサプライヤー構造は他の中東欧諸国と異なり、東南アジア諸国に類似する可能性も存在する。これらの点を考慮して、ハンガリー自動車産業の産業政策を調査すると同時に、生産ネットワークに着目して詳細な比較研究を行う。本課題の第 1 の研究目的は、ハンガリーを調査することで、中東欧地域の自動車産業の発展を理解し、東南アジア地域の自動車産業と比較することである。第 2 の研究目的はハンガリーのサプライヤーに関する詳細な研究を行うことである。

3. 研究の方法

ハンガリーの自動車メーカーは日系のスズキ自動車とドイツ系 3 社 (アウディ、メルセデスベンツ、オペル) の計 4 社であり、このうちハンガリーで完成車の組み立てを行っているのはスズキ・アウディ・メルセデスベンツの 3 社である。本研究の目的は日系とドイツ系自動車メーカーのサプライチェーン・ネットワークを分析することを柱とした。本研究は、完成車メーカー及び大手一次サプライヤーを対象としたインタビュー調査を行った後、質問票を用いハンガリー自動車産業全体を対象とした量的調査を行うことを予定していた。なお、本研究を実施するにあたり、受け入れ先のブダペスト商科大学の研究者 3 名と共同研究実

施の調整を行った。

2019年には、日系企業を中心に、完成車メーカー2社、一次サプライヤー9社、政府機関等6団体のインタビュー調査を行った。その後、ドイツ系企業のインタビュー調査を行い、ハンガリー自動車産業全体に質問票を送付する予定であった。しかしながら、2020年の初旬の新型コロナの流行により、外出禁止・都市封鎖になり、調査実施は困難となった。この予期できない状況の中、基課題で実施した調査結果も取り入れ中東欧諸国と東南アジア諸国の自動車産業の比較研究を行った。

4. 研究成果

本研究ではハンガリー現地調査を基に、これまで実施した基課題の調査結果も含め下記の研究成果を発表した。

第1に、ハンガリー自動車産業におけるスズキ自動車のサプライチェーン・ネットワークに関する研究が、2022年の12月にWeb of Sciences (WOS)のSocial Science Citation Index(SSCI)に収録されている*Acta Oeconomica*から出版された。本研究では、ハンガリーにおいてスズキ自動車(マジャール・スズキ)は、ドイツ系自動車メーカーとは異なり、地場資本企業に積極的に技術移転を行い、1次サプライヤーに成長させるサプライチェーン・ネットワーク戦略を採用し、ハンガリー自動車産業に貢献していることを考察した。

- Natsuda, Kaoru, Magdolna Sass and Laszlo Csonka (2022) Developing a Supply Chain Network: The Case of Magyar Suzuki in Hungary. *Acta Oeconomica*, 72(4): 531-552. (AK Journals, Hungary Academy of Sciences, SSCI, 2021 Impact Factor: IF 0.939). DOI:10.1556/032.2022.00034

第2に、ハンガリー自動車産業における後方連鎖(サプライチェーン・ネットワーク)について下記の2つの論文を発表した(及び発表予定)。本研究では、ドイツ系自動車メーカーと日系メーカーの後方連鎖について比較分析を行った。日系のスズキは積極的に地場資本のサプライヤーを取り入れたサプライチェーン・ネットワークを形成している。一方、ドイツ系メーカーは地場資本サプライヤーを1次サプライヤーとして取り入れず、外資系主体のサプライチェーン・ネットワークを形成している。よって、ドイツ系サプライチェーン・ネットワークにおいては、現地資本企業は2次・3次下請けを担い、付加価値の高い製品を生産することは困難であることを検証した。このような状況において、現地資本企業は、産業の高度化を達成することは困難であることを議論した。

- Gáspár Tamas, Kaoru Natsuda and Magdolna Sass (2023 forthcoming) Chapter 10: Supply Chain Linkages in the Hungarian Automotive Industry: Challenges for Industrial Upgrading, in Monaco, L. and Schröder, M. (eds.) *Emerging Auto Industries in a World of GVCs: Actors, Policies, and Structural Issues*. London: Palgrave Macmillan.
- Gáspár, Tamas, Kaoru Natsuda and Magdolna Sass (2020) Backward linkages in the Hungarian automotive industry: Where are the links concentrated? In: Šaroch, S (ed.) *ICAI 2020: Proceedings of the 1st International Conference on Automotive Industry 2020 Mladá Boleslav: Škoda Auto University*, 100-111.

第3に、ハンガリー（とチェコ）自動車産業のケーススタディーを用い、Visegrad 4 諸国（チェコ・スロバキア・ハンガリー・ポーランド）の多国籍企業から地場経済への知識のスピルオーバーについての研究を行った。論文はScopusに収録されている学術誌(Society & Economy)に投稿し、2023年5月に受理された。2023年9月に出版予定である。

- Otsuka, Kozo, Kaoru Natsuda and Laszlo Csonka (2023) Global Value Chains and Knowledge Spillover to Local Economy in Visegrad 4 Countries. *Society and Economy*, (AK Journals, Hungarian Academy of Sciences, Scopus).

第4に、2022年3月に中東欧と東南アジア地域における自動車産業の比較研究をWOS/SSCIに収録されているEurasian Geography and Economics (2021年の地域研究分野のIFは世界1位)に出版した。当初はハンガリーを分析に加えていたが、査読結果により、大幅な訂正を行い、チェコとタイの比較分析に絞る内容変更をおこなった。

- Natsuda, Kaoru, John Thoburn, Jiri Blazek and Kozo Otsuka (2022) Industrial Policy and Automotive Development: A Comparative Study of Thailand and Czechia. *Eurasian Geography and Economics*,62(2):212-238. (Routledge, SSCI, 2021 IF 3.778). DOI:10.1080/15387216.2020.1836983

第5に、チェコにおける自動車産業を主とする日系製造業の経営移転調査を行った。本論文はWOS/SSCIに収録されているAsia Europe Journalから出版された。

- Natsuda, Kaoru, Jan Sykora and Jiri Blazek (2020) Transfer of Japanese-Style Management to the Czech Republic: The Case of Japanese Manufacturing Firms. *Asia Europe Journal*,18(1):75-97. (Springer Nature, SSCI, 2021 IF 1.689). DOI: 10.1007/s10308-019-00534-6

第6に、東南アジア自動車産業の書籍を、2021年にRoutledgeから出版した。本書では、東南アジア5ヶ国（タイ・インドネシア・マレーシア・フィリピン・ベトナム）の自動車産業政策及び発展について考察している。なお、一部、中東欧地域との比較分析も含んだ内容となっている。

- Natsuda, Kaoru and John Thoburn (2021) *Automotive Industrialisation: Industrial Policy and Development in Southeast Asia*. London: Routledge (Scopus). DOI:10.4324/9780429445354

第7に、欧州の自動車環境規制の影響を受けるアジア地域における、電気自動車へのシフトに関する論文をEast Asian Forum（オーストラリア国立大学がオンライン出版している査読付ポリシー・ジャーナル）から出版した。

- Natsuda, Kaoru (2021) Drive for Electric Vehicles in Asia. East Asian Forum (Refereed, Australian National University), 9 February 2021.

<https://www.eastasiaforum.org/2021/02/09/the-drive-for-electric-vehicles-in-asia/?fbclid=IwAR14ZUSTINexRWthWRYA3TrZMTcSLxuucvRTl6Cw0Zf06SBesdbMiYXd-cM>

最後に、計8件の国際学会において、ハンガリー自動車産業、東南アジア・中東欧地域の自動車比較研究等についての講演を行った。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計6件（うち査読付論文 5件/うち国際共著 5件/うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 Natsuda Kaoru, Thoburn John, Blazek Jiri and Otsuka Kozo	4. 巻 62
2. 論文標題 Industrial policy and automotive development: a comparative study of Thailand and Czechia	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Eurasian Geography and Economics (SSCI, Routledge)	6. 最初と最後の頁 12-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/15387216.2020.1836983	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Natsuda Kaoru	4. 巻 online (9 Feb 2021)
2. 論文標題 The Drive for Electric Vehicles in Asia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 East Asian Forum (Australian National University)	6. 最初と最後の頁 n.a
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Gaspar Tamas, Natsuda Kaoru and Sass Magdolna	4. 巻 n.a
2. 論文標題 Backward Linkages in the Hungarian Automotive Industry: Where Are the Links Concentrated?	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proceedings:1st International Conference on Automotive Industry 2020 (Skoda Auto University)	6. 最初と最後の頁 100-111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Natsuda Kaoru, Sykora Jan, and Blazek Jiri	4. 巻 18(1)
2. 論文標題 Transfer of Japanese-Style Management to the Czech Republic: The Case of Japanese Manufacturing Firms	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Asia Europe Journal (SSCI, Springer Nature)	6. 最初と最後の頁 75-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10308-019-00534-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Natsuda, Kaoru, Sass, Magdolna and Csonka, Laszlo	4. 巻 74(2)
2. 論文標題 Developing a Supply Chain Network: The Case of Magyar Suzuki in Hungary	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Acta Oeconomica (SSCI, AK Journals)	6. 最初と最後の頁 531-552
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1556/032.2022.00034	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Otsuka Kozo, Natsuda, Kaoru, and Csonka, Laszlo	4. 巻 Forthcoming
2. 論文標題 Global Value Chains and Knowledge Spillover to Local Economy in Visegrad 4 Countries	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Society and Economy (Scopus, AK Journals)	6. 最初と最後の頁 n.a
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

[学会発表] 計8件 (うち招待講演 4件 / うち国際学会 8件)

1. 発表者名 Natsuda Kaoru
2. 発表標題 The Case of Magyar Suzuki Corporation
3. 学会等名 Economic cooperation and Investment between V4 and Japan (Institute for Foreign Affairs and Trade in Hungary) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Natsuda Kaoru, Sass Magdolna and Csonka Laszlo
2. 発表標題 Magyar Suzuki Corporation and the Hungarian Automotive Industry
3. 学会等名 1st International Conference on Automotive Industry: Institute of World Economy, Hungary Academy of Sciences and Budapest Business School (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Gaspar Tama, Natsuda Kaoru, and Sass Magdolna
2. 発表標題 Backward linkages in the Hungarian automotive industry: where are the links concentrated?
3. 学会等名 1st International Conference on Automotive Industry: Institute of World Economy, Hungary Academy of Sciences and Budapest Business School (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 夏田 郁
2. 発表標題 State Capacity, Industrial Policy and Policy Space: A Comparative Study of Automotive Development in Southeast Asia and Central Europe
3. 学会等名 10th International Conference of Political Economy: ICOPEC 2019, Istanbul Turkey (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 夏田 郁
2. 発表標題 Science & Technology Policy and Academia-Industry Relations in Japan
3. 学会等名 New Paradigms in Industry-University Cooperation, Szechnyi Istvan University, Hungary (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 夏田 郁
2. 発表標題 Technological Changes and the Automotive Industry
3. 学会等名 Cerebration of Hungarian Science 2019: Multiple Paths to Digitization, Budapest Business School, Hungary (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 夏田 郁
2. 発表標題 Industrial Policy and the Development of the Automotive Industry: A Comparative Study of Thailand and Czechia
3. 学会等名 17th Asia Pacific Conference, Ritsumeikan Asia Pacific University (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 夏田 郁
2. 発表標題 Japanese FDI and Management Transfer to Czechia
3. 学会等名 European Union, Visegrad 4, and Japan Tradition and Prospects for Cooperation (Institute for International Relations, Prague and Ministry of Foreign Affairs of Japan) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 Natsuda Kaoru and Thoburn John	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 290
3. 書名 Automotive Industrialisation: Industrial Policy and Development in Southeast Asia	

1. 著者名 Gaspar Tamas, Natsuda Kaoru and Sass Magdolna (forthcoming)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Palgrave Macmillan	5. 総ページ数 -
3. 書名 Chapter 10: Supply Chain Linkages in the Hungarian Automotive Industry: Challenge for Industrial Upgrading, in Monaco, L and Schroder, M (eds), Emerging Auto Industry in a World of GVCs, Actors, Policies, and Structural Issues	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
主たる渡航先の主たる海外共同研究者	サーシュ マグドルナ (Sass Magdolna)	ブダペスト商科大学・Faculty of International Management and Business・Associate Professor	
主たる渡航先の主たる海外共同研究者	チョンカ ラズロ (Csonka Laszlo)	ブダペスト商科大学・Faculty of International Management and Business・Senior Research Fellow	
主たる渡航先の主たる海外共同研究者	ギヤスパール タマス (Gaspar Tamas)	ブダペスト商科大学・Faculty of International Management and Business・Senior Research Fellow	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
その他の研究協力者	ブラゼック イルカ (Blazek Jiri)	チェコ カレル大学・Department of Social Geography and Regional Development・Professor	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
その他の研究協力者	シーコラ ヤン (Sykora Jan)	チェコカレル大学・Institute of East Asian Studies・Associate Professor	
その他の研究協力者	ソーバーン ジョン (Thoburn John)	英国 イーストアングリア大学・School of International Development・Emeritus Reader	
その他の研究協力者	大塚 宏蔵 (Otsuka Kozo)	立命館アジア太平洋大学・アジア太平洋学部・教授	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
ハンガリー	ブダペスト商科大学 (BGE: Budapest Business School)			
チェコ	カレル大学			
英国	イーストアングリア大学			